

(社)全国鑿井協会北陸支部の懇談会・新年会が平成18年2月24日(金)午後4時30分より和倉温泉加賀屋能登浴亭において開催されました。当日は、(社)全国鑿井協会会長・参議院議員 脇雅史氏、岡崎専務理事にも出席いただき、総勢33名の参加がありました。

◆協会長を囲んでの懇談会◆ 「新制度さく井技術管理者(仮称) 免許制度の設定について」

●現行の労働省資格「さく井技能士」の制度の下では、経験もなく、さく井機械も持たない事業者が簡単にさく井工事の許可を取得してしまっています。また、そんな事業者が実績もなく経験不足により完全な仕事は出来ず、発注者に満足してもらえない結果となっています。これらの要因には、余りにも経験と技術が伴わないのに、簡単に「さく井技能士」の資格が取得出来ること。業種では特に建築設備業にあり「偽装受験申請書」が多く、職業能力協会にも問題があるように思われます。抗議しても成果が上がりず悪い過去の積み上げとなっています。昨日までは異業種に居られた人が突如「さく井技能士」を受験され、合格後開業、その仕事程度は、計り知れない下等な出来形で使用に耐えかねる結果となっている。

●「地下水汚染」が全国的な広がりを示している中であって、さく井に関する厳しい技術力が要求されているにも関わらず、その試験内容や体制が現実とかけ離れています。さく井業に携わる各社の「技術力」の向上には、長期にわたる「さく井技術の実践と基礎勉強」が要求されてきています。

現在の制度では単なる数合わせにしか思えない。このような制度が続く限り技術の追求には程遠い結果となるであろう。

●これらを指導する立場の新制度「施工技術管理者」の設置を早急にすべきである。この制度が許可業者に義務付けて始めて完全なる「さく井業者」として国(国土交通省・厚生労働省・環境省)認定すべきである。(全国統一)尚、諸外国の例も参考にすべきであろう。(この結果、各地での飲料不良水質と環境問題解決にも一役買えるのではないだろうか?)

●新制度資格「さく井技術管理者」制度の設定には勿論、一級取得後、十年の堅実な経験(証明付)の者に受験資格があり、現在のさく井技能士受験資格制度では、全く通用しない。(現行はザル法に等しい) ●現在のままでは、この貴重な「地下水を汚染・枯渇させる」最大の盲点であり、いち早く改定すべきである。このままでは、日本国内水使用量の27%が地下水であり、十年後の日本の地下水は、薬液汚染・枯渇に追いやられる事は間違いない。もつと、諸外国を学ぶべきであろう。(ドイツ・フランス・イスラエル外)

●これらの要因には、行政の専門技術者の養成も考慮し「技術的」配慮が必要であり、大学の中にも専門分野を置き、官民共に学ぶべきである。その為には、我々業者数の減少もやむ負えない結果であろう。現在では、罰則もない。人間生活の貴重な「水」である。(北陸支部懇談会資料より抜粋)

富山支店 株式会社 柿本商会

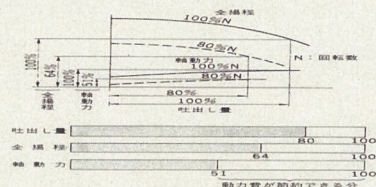
私達はインバーター制御のポンプをお奨めします!!

旧型ポンプ	新設ポンプ
水の出にムラがある。 蛇口をひねると一瞬水が止まる。 ポンプの電力消費が多くなり、電気代も高くなる。	安定給水 シャワーがとぎれない。 (安定給水で水圧に変動なし)
風呂水が、なかなか一杯にならない。 湯槽への給水に時間がかかってしまい、すぐに風呂が冷めちゃう。	給水量 約25%アップ お風呂の給水が約12.5分から約10分に短縮。 (給水量30L/分)
近所からウルサイといわれる。 湯槽に水がたまると、湯槽の振動が近所へ伝わり、騒音の原因になる。	低騒音 低騒音 運転音は静かな住宅地なみ。 (62dBの低騒音設計)
電気代がかかる。 ポンプが古いせい、水もよく出る。高圧になるため電気代が多くなる。	省エネ 約20%省エネでおトク。
タンクがサビて赤水が出る。 蛇口から臭い水が出たり、水が黄ばんだり。タンクが腐食すると水道管も腐食する。	清潔性アップ サビにくい材質のタンク。 (ステンレス+FRPP)

『日製インバーターポンプ資料』

■速度制御の原理

●回転速度を変えるとポンプ特性はどう変わるか



上図は回転速度の変化とポンプの特性の変化を示したものです。回転速度とポンプの特性との関係は次のようになっています。

$$Q \propto N, H \propto N^2, P \propto N^3$$

Q: 吐出し量・H: 全揚程・P: 軸動力、N: 回転速度
従って回転速度をN₁からN₂に変化させると、

$$Q_2 = \frac{N_2}{N_1} Q_1, H_2 = \left(\frac{N_2}{N_1}\right)^2 H_1, P_2 = \left(\frac{N_2}{N_1}\right)^3 P_1$$

となります。N₂/N₁ = 0.8とすると前式より

$$Q_2 = 0.8Q_1, H_2 = 0.64H_1, P_2 = 0.512P_1$$

となり、80%回転速度にすると軸動力は約半分近くに低減します。

最近の関心事

昨今のエネルギー事情において、エコ・エネルギーという言葉がよく聞かれるような気がします。

エコ・エネルギーと言って思い当たるのが、太陽・風力・水力発電です。我々が住んでる日本の状況は、狭い国土のわりに丘陵地が多く又年間降水量が多い事から水力発電事業は聞きますが、風力発電に至っては欧州地方に比べると格段に遅れていると言われてます。その中で、平成7年の電気事業法改正及び自治体からの住宅用太陽発電事業の補助金制度に伴い、屋根にソーラーパネルを設置しているのが最近見受けられ、興味深く考えさせられる今日この頃です。

我々の業界に於いても、小規模ではありますが自噴水を利用した発電又は安価な深夜電力を利用して夜間に井水を汲上げ、日中に落差又は流れを利用した水力発電等、現在の所採算ベースを度外視した案件ですが、『いどみず』という取扱いが良く、安定供給可能な資源を元に、エコ・エネルギー事業の一端に参入できるのではと考えると、夢が膨らみます。

(株)日東 松下賢二

編集後記: トリノオリンピックでは荒川選手が見事日本人唯一の金メダルを獲得しました。近年、通年営業のスケートリンク場の数が経営難の為、減少してきているという事です。金メダル一つで日本中があれほどに大喜び・大フィーバーできるのですから、もっと冬季スポーツ施設の充実力を入れ、強力な金メダル候補の選手を続々と世の中に輩出してもらいたいものです。

(総務部会)